

第6学年道徳科（人権）学習指導案

- 1 主題 差別に立ち向かう
- 2 主題設定の理由【省略】
- 3 ねらい

身近にある偏見や差別に向き合い、勇気を持ち、仲間と共に差別解消に向けて行動しようとする実践力と態度を育てる。

4 指導計画

〈これまでの学習〉		
○道徳科	「かおりの決心」（ひかり）	2時間（イ）
○社会科・国語科・道徳科	「人権獲得をめざして」（ひかり）	6時間（ア）・（イ）
○総合的な学習の時間	「大湾昇さんの講演を聞いて」	2時間（ウ）
○総合的な学習の時間	「中原サヲ江さんの講演を聞いて」	2時間（ウ）
○総合的な学習の時間	「雨の指文字を視聴して」（DVD）	2時間（ウ）
〈本時の学習〉		
○道徳科	「夕やけがうつくしい」（北代色さんの手紙より）	2時間（本時2／2） （ウ）
〈これからの学習〉		
○総合的な学習の時間	「識字学級との交流学习」	3時間（イ）
○特別活動	「学習発表会に向けて」	5時間（エ）

*なかまの像への思い （ア）友情 （イ）前進 （ウ）希望 （エ）やさしさ

5 本時の学習

（1）目標

字を識ることは、差別により奪われた権利や自由を取り戻し、人間らしく生きる活動であることや、差別に立ち向かい、学び続けることの大切さを理解し、差別解消に向けて行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	C－（13） 公正，公平，社会正義
なかまの像への思い	（ウ）希望

- （2） 普遍的な学習のテーマ なかまづくり
- 個人人権課題名 同和問題
- （3） 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時を想起し、本時の学習課題をつかむ。	○ 前時の学習を振り返り、本時の学習の方向付けをする。
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px;"> どうして「夕やけがうつくしい」と感じたのだろう。 </div>	
2 北代さんの気持ちについて考える。 ・夕やけが「ほんとうにうつくしい」と感じたとき ・「十年ながいきしたい」と思ったとき	○ 字を識ることによる気持ちの変化について考えさせ、生きる喜びを得ていく姿に共感させる。 ○ 「もっともっとべんきょうをしたい」と思ったのはなぜかを考えさせる。 ①
3 これからの自分の生き方について考える。	○ 差別解消に向けて自分に何ができるのかを考えさせる。 ②

（4）評価

・字を識ることは、差別により奪われた権利や自由を取り戻す活動であることや、差別に立ち向かい、学び続けることの大切さを理解できたか。 （知識的側面）①

・字を識ることで生きる喜びを得ていく姿に共感し、これからの自分の生き方について考え、差別解消に向けて行動しようとする意欲を高めることができたか。

（価値的・態度的側面）②